

1. 活動目標の設定

本分科会は分科会長以下15名の会員によって、63年度の活動を行ってきた。その会員を次ページに示す。

当分科会で研究するテーマの前提条件としては、分科会が発足したときに決定された下記の基本条件に従って今年も選定を行った。

- ① 調査・研究の対象は鋼構造物とすること
- ② 基準研究部会であることを認識すること
- ③ 他の会員にも有用な情報を提供すること

過去3年間に渡り、新交通・モノレールをテーマとして取り組んできた。このテーマについては昨年迄でほぼ当初の目標は達成したことや、現状では新たな展開が難しく目標の設定が困難な事等より昨年で一応完了とした。今年度については新交通と同様に今後の需要が多く見込まれかつ設計基準が整備されていない構造物に着目し、次のような候補が揚げられた。

人工地盤、鋼構造物設計基準、リニアモータ、応急橋、長大橋の設計の考え方、非磁性鋼材、吊り床版橋、新素材、併用橋

以上の項目について意見交換を行い最終的に「人工地盤」と「リニアモータ」の2つが選定された。

2. 活動のスケジュール

前述の活動目標の下に62年度の活動経験に基づき63年度の概略のスケジュールとして以下を定め、原則として2カ月に1回の分科会会合を持つこととなった。

- | | | |
|---|------------------------------|----------------|
| ① | 62年度活動の反省及び
63年度の研究テーマの検討 | 2カ月(63/4-63/5) |
| ② | 調査、研究活動 | 8カ月(63/5-64/1) |
| ③ | 報告書の作成 | 2カ月(64/2-64/3) |